

蔵王山の火山活動解説資料（平成 25 年 8 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

火山性地震は少ない状況で経過し、地殻変動及び噴気活動にも特段の変化はみられず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1、図 4）

12 日に実施した現地調査では、御釜周辺の状況に特段の変化は認められませんでした¹⁾。

遠刈田温泉（山頂の東約 15km）及び上山金谷²⁾（山頂の西約 13km）に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

2) 気象庁では蔵王山の表面現象を監視するために、山形県上市市金谷に臨時の遠望カメラを設置し、7 月 26 日から運用を開始しました。

・地震や微動の発生状況（図 2）

火山性地震は少ない状況で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 5）

火山活動に関連する変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 9 月分）は平成 25 年 10 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。



図 1 蔵王山 山頂部と御釜付近の状況

上段：8月26日07時04分頃

・遠刈田温泉（山頂の東約15km）に設置してある遠望カメラの映像です。
注）御釜から噴気が噴出した場合、高さ200m以上のときに観測されます。

下段：8月26日11時24分頃

・上山金谷（山頂の西約13km）に設置してある遠望カメラの映像です。
・山形県上山市金谷に設置、7月26日から運用を開始しました。
注）御釜から噴気が噴出した場合、高さ200m以上のときに観測されます。

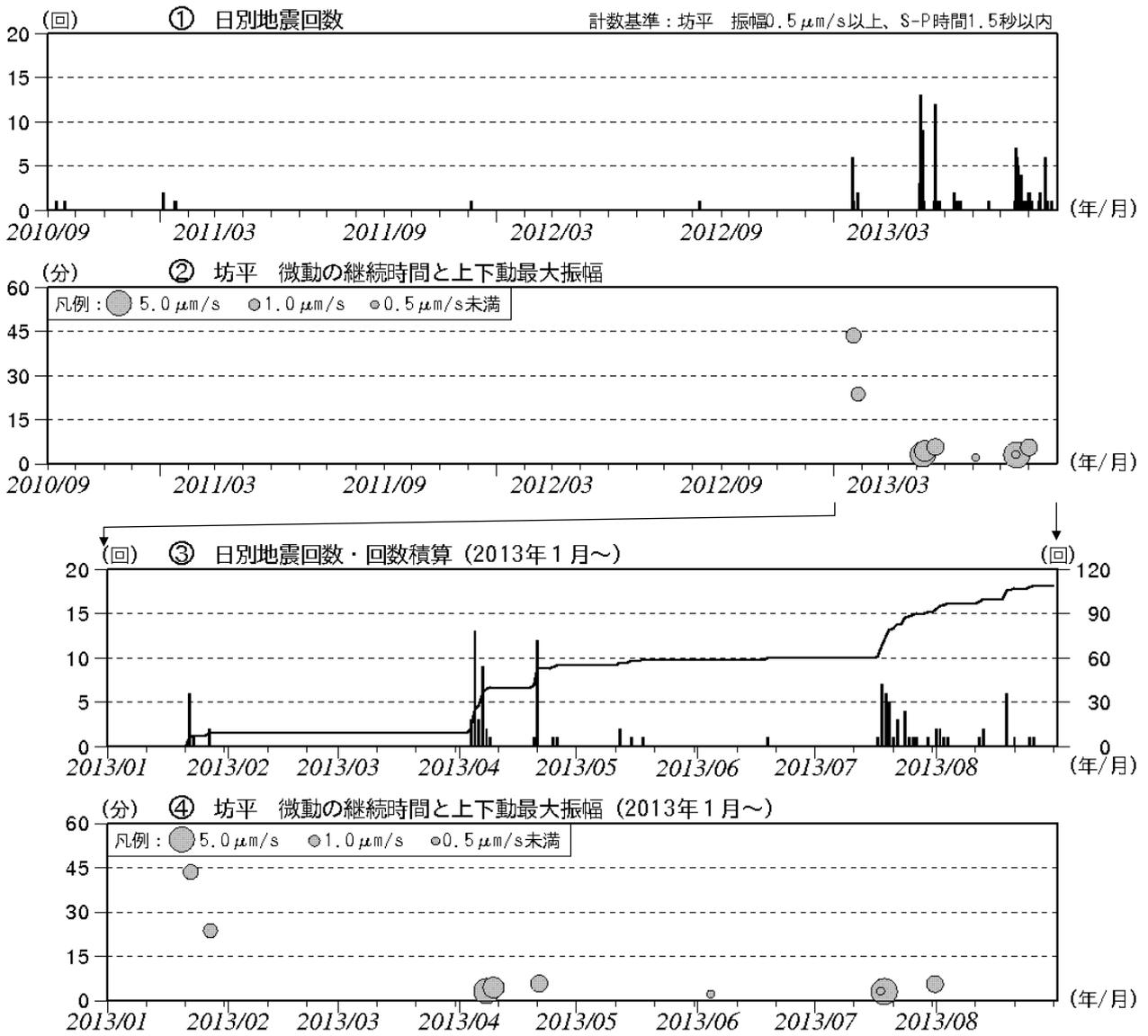


図2 蔵王山 火山活動経過図（2010年9月～2013年8月）

2010年9月1日から観測を開始しました。

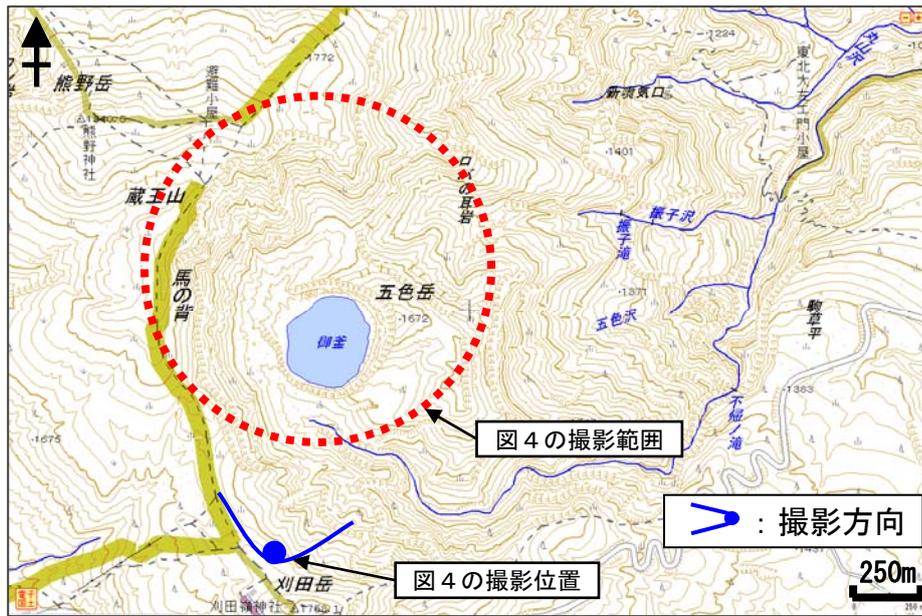


図3 蔵王山 御釜周辺の可視画像と地表面温度分布²⁾ 撮影位置および範囲

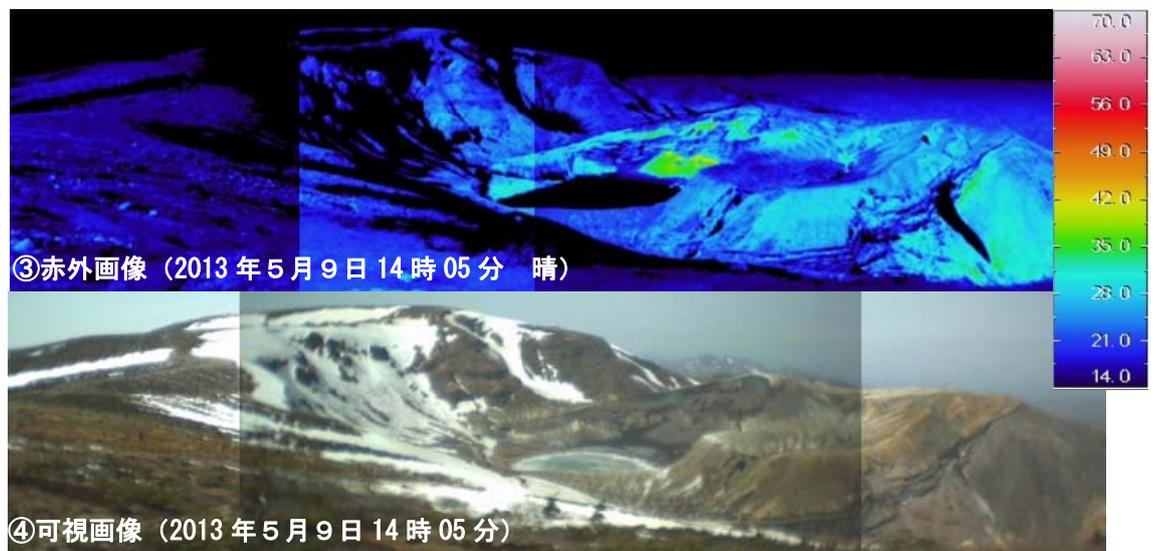
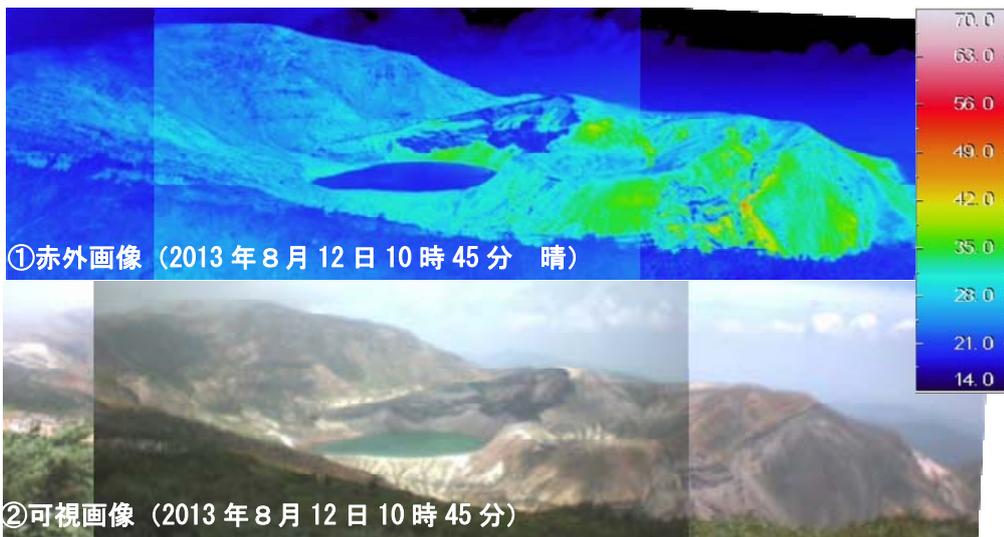


図4 蔵王山 御釜周辺の可視画像と地表面温度分布²⁾

①、②：2013年8月12日撮影 ③、④：2013年5月9日撮影

・御釜周辺に、特段の変化は認められませんでした。

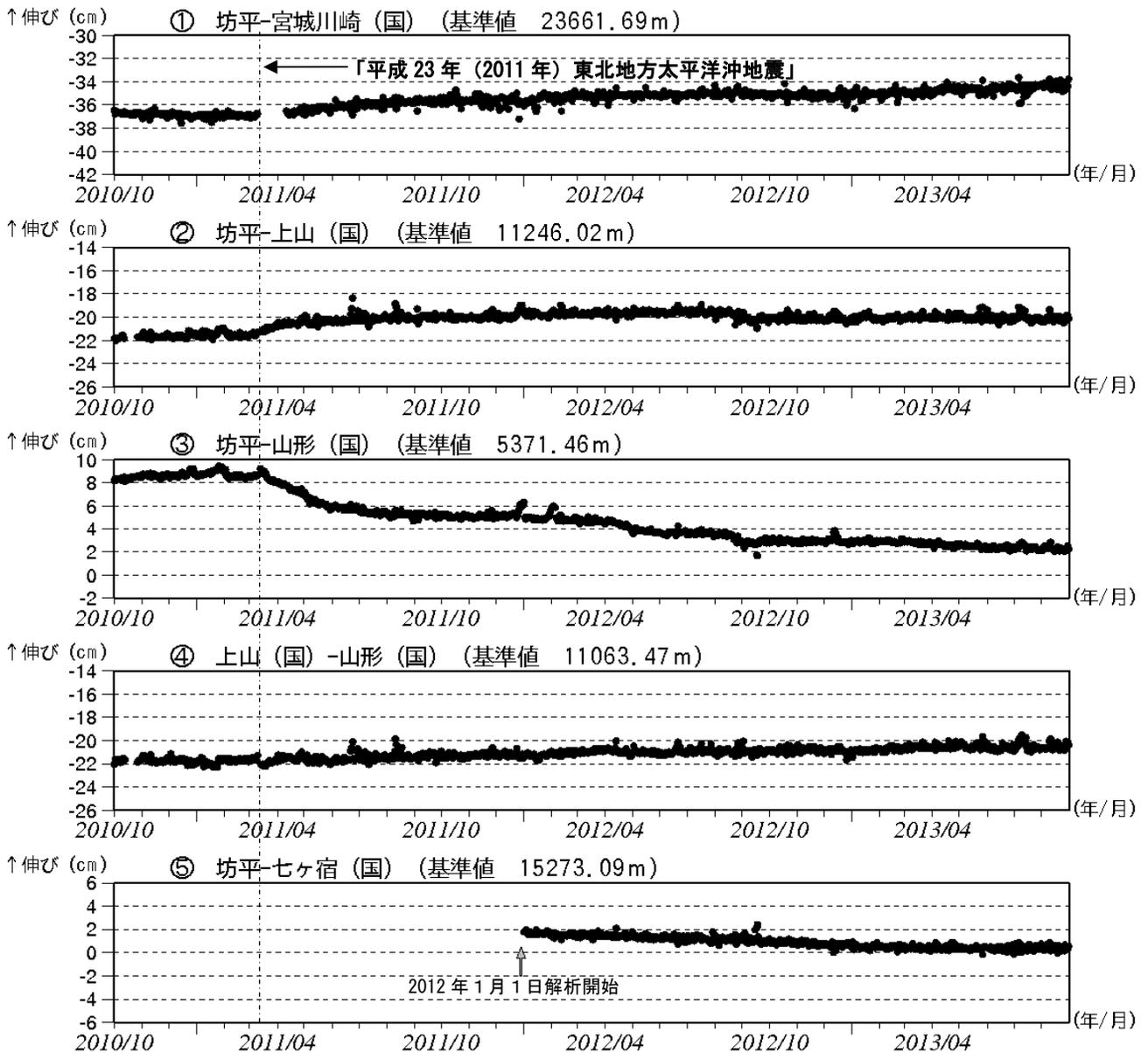


図 5 蔵王山 GPS 基線長変化図 (2010 年 10 月～2013 年 8 月)

- ・ 2011 年 3 月 11 日以降の変動は、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・ ①～⑤は図 6 の GPS 基線①～⑤に対応しています。
 - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- (国) : 国土地理院

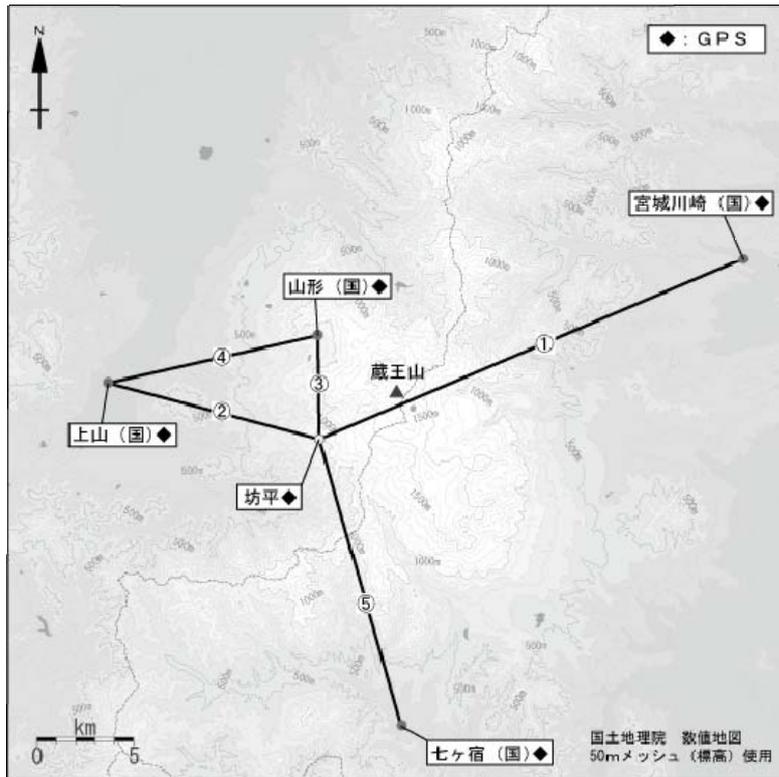


図6 蔵王山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院

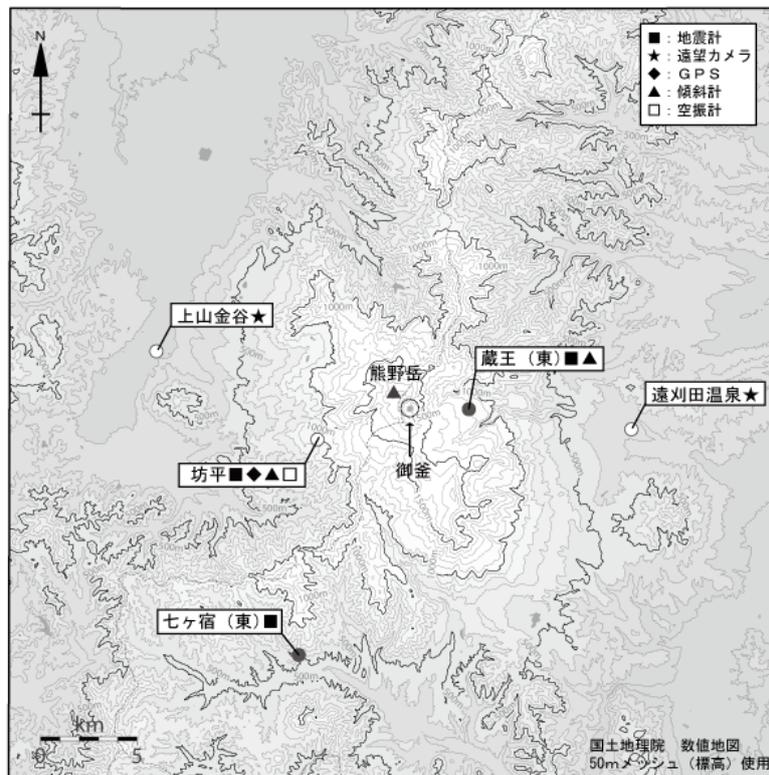


図7 蔵王山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学